



高齢者の多様な住まい

その2 - 選び方・費用など -



Q いろいろな施設があるけれど、どのようにして選べばいいの？

- ① 入所する時期を決定(想定)してから探しましょう。
- ② 利用者の健康状態により、利用できる施設が分かれています。要介護認定を確認し、医療対応や認知症ケア アクティビティ・食事など施設によってサービスが異なります。入居後の生活を想像してみましょう。
- ③ どんなに良い施設を探しても、予算に合わなければ入所できません。予算を設定しましょう。
- ④ どのエリアで探すか検討しましょう。
- ⑤ 見学に行きましょう。(基本情報・周辺環境・入居者の雰囲気・スタッフの印象・入居者の状況・経営状況 居室・共用設備・介護サービス・生活支援サービス・食事サービス・医療関連サービス・料金についてなど) 料金は、『一時金方式』と『月払方式』が選べる所もあります。納得の行くまで説明を受けましょう。
- ⑥ 施設の宿泊体験をしましょう。(30日くらい体験出来る所もあります。)

Q 居室の広さ・費用はどれくらいですか？ (神奈川県「高齢者の多様な住まいと有料老人ホーム」より)

		居室(m ²)	月額(万円)	一時金(万円)
有料老人ホーム	健康型	28~30	10~12	40~60
	住宅型	18~36	15~25	300~1000
	介護付	13~25	15~25	300~1000
高齢者向け賃貸住宅	高齢者向け有料賃貸住宅	38.2~52.5	4.4~9.1	敷金が必要
	高齢者専用賃貸住宅	35.8~44.5	10~12.5	敷金が必要
	適合高齢者専用賃貸住宅	40.1~58.3	10.6~17.8	322~486
	シルバーハウジング	—	1~8	—
老人福祉施設	軽費老人ホーム (A型)	6.6以上	14~17	なし
	(B型)	6~9畳	0.6~0.9	
	(ケアハウス)	21.6以上	11~25	必要な場合もある
	養護老人ホーム	10.65以上	4~8	
介護保険施設	特別養護老人ホーム	10.65以上	6~14	なし
	介護老人保健施設	8以上	7~22	
	指定介護療養型医療施設	6.4以上	5~23	
高齢者認知症グループホーム		7.43以上	8~11	0~50

一時金は入居時に支払う、家賃の前払い金とホームの終身利用権。月額は管理費・家賃・食費・サービス費など。

一時金方式の注意

- ① 初期償却率は適正か。
- ② 保全措置が設けられているか。
- ③ 90日以内解約時に一時金が全額返還される規定があるか。

「介護付き有料老人ホーム」を見学した時、自立の人も介護費用が必要と分かりビックリしました。施設の種類が同じでもサービスや料金に大きな違いがあります。また、施設の種類が違っていても、サービスが似ていることがあるので驚きました。

義母は高額な入所金で有料老人ホームに入りました。娯楽がいっぱい楽しい日々でしたが、介護が必要になり別棟に移りました。介護棟は一般の介護施設と比べると物足りなさを感じました。元気なうちは家族との付き合いを楽しみ、介護が必要となった時に施設に入所をする選択が良いのかなと私は思います。